

オーナー様各位

令和2年8月期決算報告

ミノラス不動産株式会社
代表取締役 石川英嗣

寒冷の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

以下のグループ6社の令和2年8月期連結決算報告を致します。

- ・ミノラスホールディングス株式会社
- ・ミノラス不動産株式会社
- ・ミノラスサブリース株式会社
- ・ミノラスメンテナンス株式会社
- ・ミノラステナントサービス株式会社
- ・ミノラスステイ株式会社

さて、令和2年8月期は、賃貸管理業においては、堅調に業績を伸ばしており、売上高は325百万円（前年比+1.0%）となりました。また、「地域不動産の資産価値向上」というミッション実現に向けて、オーナー様への収益提案等により、不動産コンサルティング事業は、売上高46百万円（前年比+37.5%）と徐々に形になってまいりました。

但し、当期は、コロナ禍もあいまって、当初計画しておりました民泊・宿泊事業において、ミノラスステイ株式会社を期中に設立いたしました。事業計画をほぼストップせざるを得ず、マンスリー事業、シェアハウス事業においても、稼働が停滞し、キャンペーン施策などによる集客を行った結果、収益を圧迫いたしました。シェアハウス事業では、粗利前年比△38.5%、マンスリー事業では、△61.2%と大きな利益減少となりました。

その他、不動産販売事業におきましても、前期と比較すると、取扱いの件数、規模も縮小し、売上高408百万円（前年比△19.1%）、粗利36百万円（前年比△66%）と、こちらも利益減少となりました。



最終的な連結ベースの売上高は 1,791 百万円（前年比△4.0%）、経常利益は 135 百万円（前年比△51.0%）と前年から減収減益となりました。

一方、財産面で見ますと、当座比率は 87.4%と前年比 8.9 ポイント低下しておりますが、販売用不動産の仕入によるもので、流動比率は 246%（前年比 12 ポイント上昇）と安全な状態を保っております。減益ではあるものの、98 百万円の当期利益を計上し、自己資本比率は 53.1%と前年より 2.7 ポイント上昇しており、十分な内部留保を蓄積できております。

詳細につきましては、「ミノラスグループ 連結決算報告」をご参照ください。

すでに令和 2 年 9 月より、新たな年度が始まっておりますが、自ら掲げた使命実現に向け、「地域不動産の価値創造と挑戦」を重要テーマとして、今期経営計画を達成してまいりたいと考えております。

引き続き、不透明な社会情勢ではありますが、組織力を高め、皆様の期待に応え、お役にたてるよう全社一丸となって努力してまいります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。